

「花と緑のボランティア講座」の概要

平成 21 年度から「花とみどりの楽校」の名称で実施。

当初は、花や緑のまちづくりに関心があり、地域で活動をしてみたい、あるいは、活動をしようとしている方々を対象に、花や緑のまちづくり活動の中枢的役割を担う人材を養成する講座で、前半は「花の分野」と「緑の分野」に分かれて、学識経験者や各分野の専門の方々の講義を受け、基礎的なことを学び、後半は、「花の分野」と「緑の分野」の合同で、講義・実習をバランスよく盛り込んだ「花と緑を軸とした風景の考え方」などの講義内容で、まちづくりに関した応用的なことを学んできた。

その後、平成 24 年度から「花とみどりの楽校」を「緑の分野」に特化して発展させる形で、里山保全・再生活動をするための特に技術的な知識を学ぶ連続全 9 回の「花とみどりの楽校（里山づくり編）」を開講

この講座は市内各地で里山保全・再生活動されている市民ボランティアの方々が、企画段階から運営に至るまで、主体的に実施していただくものである。

「花とみどりの楽校」及び「花とみどりの楽校（里山づくり編）」も 8 年目を迎え、様々な理由により、年々、参加申し込みされる市民の減少が目立つようになってきた。

そのため、平成 27 年度においては、連続講座ではなく単発での開催とし、誰もが受講しやすい実習や体験に重点を置き、特に対象を子育て世代・子育てに余裕がでてきた若年層として、講座受講への敷居を低くし、底辺を広げ、また、楽校の存在を知ってもらうことを目的に開催した。

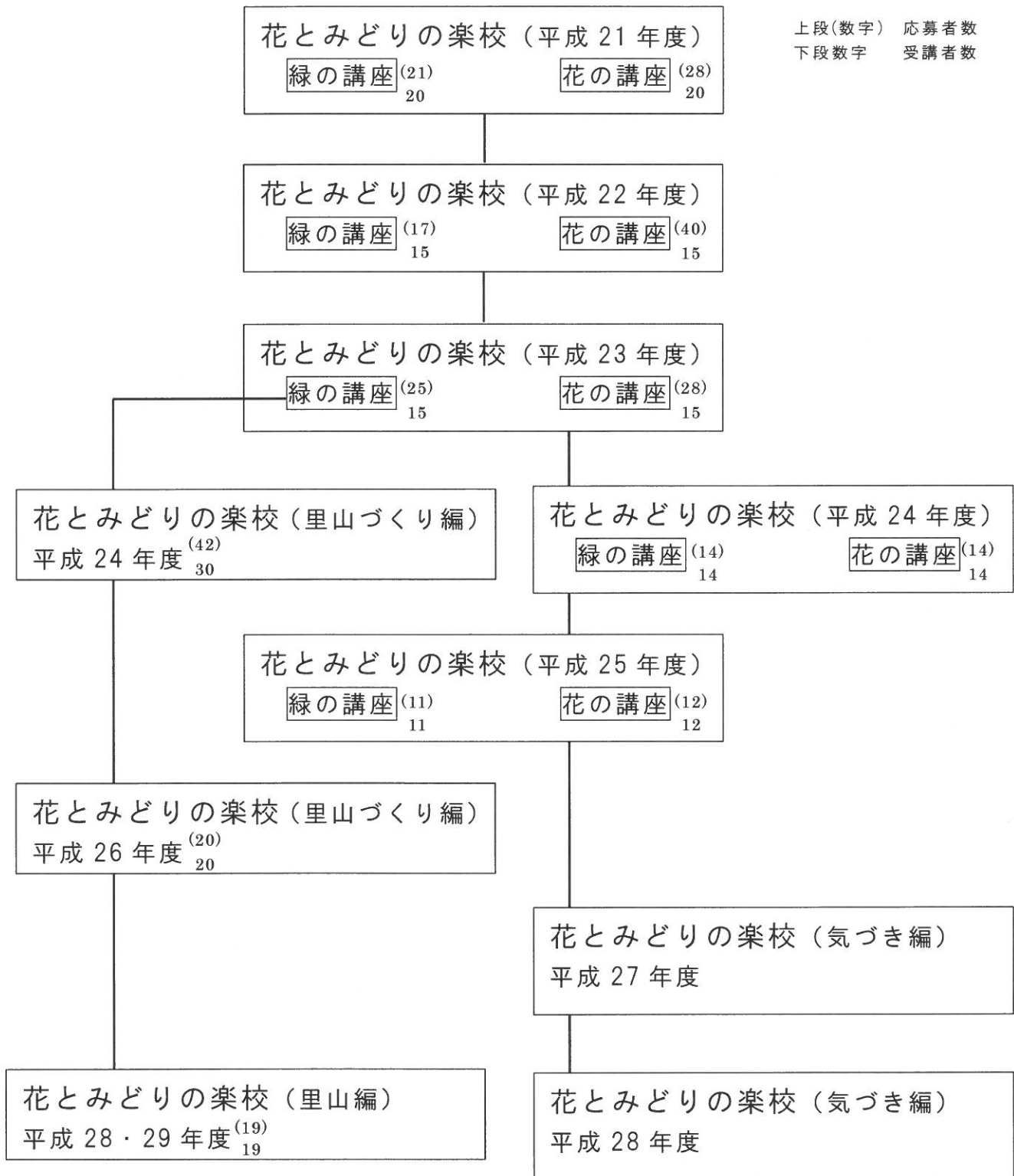
また、一講座内では、実習や体験で終わるのではなく、花や緑に関心を持ってもらうための効果もなくてはならないため、次につなげるための 30 分程度の学びの時間をとった。

平成 27 年度は“気づき編”として、1 回完結の体験型講座を開講し、対象を小学生とその保護者に広げてきたが、まだまだ、取り込めたとはいえず、平成 28 年度は、気づき編を引き続き開講しながら、平行して従来の里山づくり編を“里山編”として開講し、ボランティア養成を系統だてて行うこととした。

平成 28 年度（里山編）については、平成 29 年 1 月開校予定、5 回の連続講座とし、後半の 2 回は、平成 29 年度予算により平成 29 年 4 月・5 月に開催。

市内ボランティア団体から、4名のボランティアを派遣いただき、市職員と共にカリキュラム作成・講師依頼を行い、5回の連続講座を行った。

上段(数字) 応募者数
下段数字 受講者数



花とみどりの楽校 実績

(1) 平成21年度実績							
花の講座 <応募状況> 28人・・・男性10人、女性18人 <受講決定者> 20人・・・男性7人、女性13人 (平均年齢 58歳) H21『花とみどりの楽校』 日程・内容等(前期) □ 花・緑の合同講座							
緑の講座							
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ	
1	7月11日(土)	午後	講義	開講式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」	
2	7月25日(土)	午前	講義	里山・里地の歴史を知る	田中 淳夫 (森林ジャーナリスト)	市役所	
		午後	講義 観察	鎮守の森・杜さんの歴史を知る	今木 義法 (生駒民俗会)		
3	9月5日(土)	午前	講義	日本的な自然観について	菅井 啓之 (京都ノートルダム女子大学)	市役所 滝寺公園	
		午後	観察	自然を通してもの観方を学ぶ			
4	9月26日(土)	午前	講義	自然の生態系を学ぶビオトープネットワークってなに?	米本 桂子 (近畿大学)	市役所	
		午後	講義	緑の地形構造を知る(なぜ、緑は残ったか)	久 隆浩 (近畿大学)		
5	10月10日(土)	午前	講義	里山の管理手法を学ぶ	海老澤 長五郎 (いこま里山クラブ)	市役所	
		午後	講義	樹木のボディランゲージとは	有賀 一郎 (樹木医)		
6	10月24日(土)	午前	実習	森林保全の体験をする(1)	海老澤 長五郎 (いこま里山クラブ)	エコパーク21 イモ山公園	
		午後	実習	森林保全の体験をする(2)			
緑の講座 <応募状況> 21人・・・男性16人、女性5人 <受講決定者> 20人・・・男性15人、女性5人 (平均年齢 62歳)							
花の講座							
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ	
1	7月11日(土)	一日	実習	開講式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」	
2	7月25日(土)	午前	実習	草花の育苗管理をしよう(1)(播種)	ふるーらむ職員	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」	
3	9月5日(土)			草花の育苗管理をしよう(2)(鉢上)	ふるーらむ職員		
4	9月26日(土)			楽しい花壇デザインをしてみよう	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)		
5	10月10日(土)			草花の育苗管理をしよう(3)(定植)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)		
6	10月24日(土)			樹木(花木)の手入れについて			ふるーらむ職員
H21『花とみどりの楽校』 日程・内容等(後期)							
合同講座							
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ	
7	11月7日(土)	一日	実習	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	市内	
8	11月21日(土)	午前	講義	<プランづくり(1)> 「花と緑のプラン」の事例と活動の輪の広げ方について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」	
		午後	実習	<基礎編1> 緑化スペースを見る視点とワークショップの作法について			
9	12月5日(土)	午前	講義	<プランづくり(2)> 地域での花と緑の風景調査の視点について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)		
		午後	実習	<応用実習(1)> 地域に出て花と緑の風景を探そう(現地調査)			
10	平成22年 1月9日(土)	午前	講義	<プランづくり(3)> 地域の緑と広域の緑について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)		
		午後	実習	<応用実習(2)> 地域での緑の違いや風景の特色を知ろう			
11	1月23日(土)	午前	講義	<基礎編2> まちづくりにおける住民の役割と体制づくりについて	久 隆浩 (近畿大学)		
		午後	実習	<応用実習(3)> 地域の「花と緑のプラン」をつくってみよう	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)		
12	2月27日(土)	午後	発表 修了式	私の花と緑のまちづくり作戦や今後の抱負の発表 修了式	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局		
合計 <応募状況> 49人 <受講決定者> 40人 (平均年齢 60歳) <成果> 受講前は「花や緑のことを学びたかった・興味があった(「活動をしたい」は2割未満)」方々が、修了後には「花や緑に関するボランティア活動をしたい」という方々が9割を超えた。(アンケート結果による)							

花とみどりの楽校 実績

(2) 平成22年度実績						
緑の講座						
<応募状況> 17人・・・男性14人、女性 3人 <受講決定者> 15人・・・男性12人、女性 3人 (平均年齢 緑 58歳)						
H22『花とみどりの楽校』 日程・内容等(前期)						
緑の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	6月5日(土)	午後	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
2	6月12日(土)	一日	見学	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	市内
3	7月3日(土)	午前	講義	日本的な自然観について	菅井 啓之 (京都ノートルダム女子大学)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	観察	自然を通してものの観方を学ぶ		
4	7月24日(土)	午前	講義	生駒の緑はなぜ残ったのか?	久 隆浩 (近畿大学)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	講義 見学	ピオトーブネットワークってなに?	米本 桂子 (近畿大学)	
5	9月18日(土)	午前	講義	里山・里地の歴史	森林インストラクター 阿部 和生	南コミュニティ センター
		午後	講義 観察	村の聖地ーモリに宿るカミ	今木 義法 (生駒民俗会)	
6	10月9日(土)	午前	実習	森林保全の体験をしてみよう(1)	海老澤 長五郎 (いこま里山クラブ)	エコパーク21 イモ山公園
		午後	実習	森林保全の体験をしてみよう(2)		
花の講座 <応募状況> 40人・・・男性12人、女性28人 <受講決定者> 15人・・・男性 5人、女性10人 (平均年齢 緑 58歳)						
花の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	6月5日(土)	午後	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
2	6月12日(土)	一日	見学	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	市内
3	6月26日(土)	午前	講義	楽しい花壇デザイン(1)	野見山 由紀子 (環境計画・コンサルティンク)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	楽しい花壇デザイン(2)		
4	7月17日(土)	午前	講義	花壇づくりを学ぼう (土・資材など)(1)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	
		午後	実習	花壇づくりを学ぼう (土・資材など)(2)		
5	9月4日(土)	午前	講義	草花の管理を学ぼう (施肥・灌水など)(1)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	
		午後	実習	草花の管理を学ぼう (施肥・灌水など)(2)		
6	9月25日(土)	午前	講義	先進地(市民ボランティア)の 取り組み(1)	佐藤 啓子 (ガーデンフォトグラフア)	
		午後	実習	先進地(市民ボランティア)の 取り組み(2)		
H22『花とみどりの楽校』 日程・内容等(後期)						
合同講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
7	10月16日(土)	午前	講義	<プランづくり(基礎編)> 「公園づくり」の視点と活動について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	<基礎実習> 緑化スペースを見る視点 ～アツと驚く公園の仕組み～		
8	11月6日(土)	午前	講義	<プランづくり(応用編・1)> 地域での花と緑の風景調査の視点について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
		午後	実習	<応用実習(1)> 地域に出て花と緑の風景を探そう(現地調査)		
9	11月27日(土)	午前	講義	<プランづくり(応用編・2)> 地域の緑と広域の緑について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
		午後	実習	<応用実習(2)> 地域での緑の違いや風景の特色を知ろう		
10	12月18日(土)	午前	講義	<プランづくり(応用編・3)> まちづくりにおける住民の役割と体制づくりについて	久 隆浩 (近畿大学)	
		午後	実習	<応用実習(3)> 地域の「花と緑のプラン」をつくってみよう	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
11	1月8日(土)	午後	発表 修了式	私の花と緑のまちづくり作戦や今後の抱負の発表 修了式	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	
合 計 <応募状況> 53人 <受講決定者> 30人 (平均年齢 58歳)						
<成果> 平成21年度と同様に受講前には、「活動をしたい」は1割未満の方々が、修了後には全員の方々が「花や緑に関するボランティア活動をしたい」という結果であった。						

花とみどりの楽校 実績

(3) 平成23年度 緑の講座						
<応募状況> 25人・・・男性19人、女性6人 <受講決定者> 15人・・・男性4人、女性11人 (平均年齢 緑 64歳)						
H23『花とみどりの楽校』 日程・内容等(前期)						
緑の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	6月4日(土)	午後	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのまちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
2	6月12日(日)	午前 午後	講義 観察	日本的な自然観について 自然を通してものの観方を学ぶ	菅井 啓之 (京都ノートルダム女子大学)	市役所 往馬大社
3	7月2日(土)	一日	見学	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
4	7月9日(土)	午前 午後	実習 実習	森林保全の体験をしてみよう(1) 森林保全の体験をしてみよう(2)	磯貝 猛 (グリーンボランティア いこま宝の里)	エコパーク21 イモ山公園
5	7月23日(土)	午前 午後	講義 講義 観察	野鳥の魅力 村の聖地ーモリに宿るカミ	与名 正三 (フォトグラファー) 今木 義法 (生駒民俗会)	南コミュニティ センター
6	9月10日(土)	午前 午後	講義 講義 実習	生駒の緑はなぜ残ったのか? ビオトープネットワークってなに?	久 隆浩 (近畿大学) 米本 桂子 (近畿大学)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」 大和民俗 公園
花の講座						
<応募状況> 28人・・・男性8人、女性20人 <受講決定者> 15人・・・男性4人、女性11人 (平均年齢 花 63歳)						
花の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	6月4日(土)	午後	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのまちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
2	6月18日(土)	午前 午後	講義 実習	楽しい花壇デザイン(1) 楽しい花壇デザイン(2)	野見山 由紀子 (環境計画・コンサルティング)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
3	7月2日(土)	一日	見学	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
4	7月16日(土)	午前 午後	講義 実習	花壇づくりを学ぼう (土・資材など)(1) 花壇づくりを学ぼう (土・灌水など)(2)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
5	7月30日(土)	午前 午後	講義 実習	先進地(市民ボランティア) の取り組み(1) 先進地(市民ボランティア) の取り組み(2)	三田花と緑のネット ワークの皆さん	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
6	9月17日(土)	午前 午後	講義 実習	草花の管理を学ぼう (施肥・灌水など)(1) 草花の管理を学ぼう (施肥・灌水など)(2)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
H23『花とみどりの楽校』 日程・内容等(後期)						
合同講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
7	10月1日(土)	午前 午後	講義 実習	<プランづくり(基礎編)> 「公園づくり」の視点と活動について <基礎実習> 緑化スペースを見る視点 ～アットと驚く公園の仕組み～	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
8	10月23日(日)	午前 午後	講義 実習	<プランづくり(応用編・1)> 地域での花と緑の風景調査の視点について <応用実習(1)> 地域に出て花と緑の風景を探そう(現地調査)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
9	11月5日(土)	午前 午後	講義 実習	<プランづくり(応用編・2)> 地域の緑と広域の緑について <応用実習(2)> 地域での緑の違いや風景の特色を知ろう	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
10	12月10日(土) 12月3日(土)	午前 午後	講義 実習	<プランづくり(応用編・3)> まちづくりにおける住民の役割と体制づくりについて <応用実習(3)> 地域の「花と緑のプラン」をつくってみよう	久 隆浩 (近畿大学) 下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
11	12月24日(土)	午後	発表 修了式	私の花と緑のまちづくり作戦や今後の抱負の発表 修了式	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 事務局	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
合計						
<応募状況> 53人 <受講決定者> 30人 (平均年齢 63歳) <成果> 平成21・22年度と同様に受講前には、「活動をしたい」は約1割の方が、修了後には約8割の方が「花や緑に関するボランティア活動をしたい」という結果であった。						

花とみどりの楽校 実績

(4) 平成24年度実績						
緑の講座						
<応募状況> 14人・・・男性 4人、女性10人						
<受講決定者> 14人・・・男性 4人、女性10人 (平均年齢 緑 64歳)						
H24『花とみどりの楽校』 日程・内容等(前期)						
緑の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	5月26日(土)	午後	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院 事務局)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
2	6月2日(土)	一日	見学	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院 事務局)	市内
3	6月17日(日)	午前	講義 実習	森林保全の体験をしてみよう(1)	磯貝 猛 (グリーンボランティア いこま宝の里)	エコパーク21 イモ山公園
		午後	実習	森林保全の体験をしてみよう(2)		
4	6月30日(土)	午前	講義	日本的な自然観について	菅井 啓之 (京都ノートルダム女子大学)	市役所 滝寺公園
		午後	観察	自然を通してものの観方を学ぶ		
5	7月14日(土)	午前	講義 観察	野鳥の魅力	与名 正三 (フォトグラファー)	竹林寺
		午後	講義 見学	村の聖地 モリに宿るカミ		
6	7月28日(土)	午前	講義	生駒の緑は なぜ残ったのか?	久 隆浩 (近畿大学)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	講義 観察	ピオトープネットワーク ってなに?		
花の講座						
<応募状況> 14人・・・男性 4人、女性10人						
<受講決定者> 14人・・・男性 4人、女性10人 (平均年齢 花 63歳)						
花の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	5月26日(土)	午後	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院 事務局)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
2	6月2日(土)	一日	見学	花飾りや緑を探そう(バスツアー)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院 事務局)	市内
3	6月9日(土)	午前	講義	楽しい花壇デザイン(1)	野見山 由紀子 (環境計画コンサルティング)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	楽しい花壇デザイン(2)		
4	6月23日(土)	午前	講義	花壇づくりを学ぼう (土・資材など)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	花壇づくりを学ぼう (播種作業など)		
5	7月7日(土)	一日	講義	先進地(市民ボランティア) の取り組み	三田花と緑のネット ワークの皆さん	
6	7月21日(土)	午前	講義	草花の管理を学ぼう (施肥・灌水など)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	
		午後	実習	草花の管理を学ぼう (鉢上げ作業など)		
合同講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
7	9月1日(土)	午前	講義	<プランづくり(基礎編)> 「公園づくり」の視点と活動について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のまちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	<基礎実習> 緑化スペースを見る視点 ～アツと驚く公園の仕組み～		
8	9月9日(日)	午前	講義	<プランづくり(応用編・1)> 地域での花と緑の風景調査の視点について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
		午後	実習	<応用実習(1)> 地域に出て花と緑の風景を探そう(現地調査)		
9	9月22日(祝)	午前	講義	<プランづくり(応用編・2)> 地域の緑と広域の緑について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
		午後	実習	<応用実習(2)> 地域での緑の違いや風景の特色を知ろう		
10	10月6日(土)	午前	講義	<プランづくり(応用編・3)> まちづくりにおける住民の役割と体制づくりについて	久 隆浩 (近畿大学)	
		午後	実習	<応用実習(3)> 地域の「花と緑のプラン」をつくってみよう		
11	10月21日(日)	午後	発表 修了式	私の花と緑のまちづくり作戦や今後の抱負の発表 修了式	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院 事務局)	
合計						
<応募状況> 28人						
<受講決定者> 28人 (平均年齢 64歳)						
<成果>						
受講前には、「活動をしたい」は1割弱の方々が、修了後には約7割の方々が「花や緑に関するボランティア活動をしたい」という結果であった。						

花とみどりの楽校 実績

(5) 平成25年度実績						
緑の講座						
<応募状況> 11人・・・男性 6人、女性 5人						
<受講決定者> 11人・・・男性 6人、女性 5人 (平均年齢 緑 63歳)						
H25『花とみどりの楽校』 日程・内容等(前期)						
緑の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	6月23日(日)	午前	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	生駒市役所
		午後	講義	ボランティアの意義	坂谷 操 (市民活動推進センター ららぽーと)	
2	7月6日(土)	午前	講義	日本的な自然観について	菅井 啓之 (京都リトルダム女子大学)	花のもちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	観察	自然を通してものの観方を学ぼう		長弓寺
3	7月20日(土)	午前	観察	野鳥の魅力を知ろう	与名 正三 (フォトグラファー)	北コミュニティセンター
		午後	講義 実習	ピオトープネットワークってなに?	米本 桂子 (近畿大学)	
4	9月7日(土)	午前	講義	生駒の緑はなぜ残ったのか?	久 隆浩 (近畿大学)	萩原町 自治会館
		午後	講義 見学	村の聖地ーモリに宿るカミ	今木 義法 (生駒民俗会)	
5	9月21日(土)	午前	講義	植生調査をしよう(計画)	中川 育男 (中川技術士事務所)	真弓南集会所 真弓どんぐり 公園
		午後	実習	植生調査をしよう(実施)		
6	10月5日(土)	午前	講義	植生調査をしよう(検証)	中川 育男 (中川技術士事務所)	
		午後	実習	森のゾーニング計画を描こう	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
7	11月2日(土)	一日	講義 実習	自然環境教育を学ぶ	本多 孝 (IPNETジャパン)	生駒山麓公園
花の講座						
<応募状況> 12人・・・男性 2人、女性10人						
<受講決定者> 12人・・・男性 2人、女性10人 (平均年齢 花 60歳)						
花の講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
1	6月23日(日)	午前	開校式 講義	開校式 花と緑いっぱいのもちづくり(基調講演)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	生駒市役所
		午後	講義	ボランティアの意義	坂谷 操 (市民活動推進センター ららぽーと)	
2	6月29日(土)	午前	講義	花壇づくりを学ぼう (土づくり・施肥・病害虫など)	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	花のもちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	見学	花のボランティア 活動の見学	光陽台ひまわりの会 のみなさん	光陽台 中央公園
3	7月13日(土)	午前	見学	まちなかガーデン先進地 (三田市)の取組	三田グリーンネット のみなさん	三田市
		午後	見学			
4	9月14日(土)	午前	講義	楽しい花壇デザイン をしよう(講義)	野見山 由紀子 (環境計画 コンサルティング)	花のもちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	楽しい花壇デザイン をしよう(実習)		
5	9月28日(土)	午前	調査	コミュニティガーデンの 現地調査をしよう	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	
		午後	実習	コミュニティガーデンの デザインをしてみよう		
6	10月19日(土)	午前	講義	コミュニティガーデンを つくってみよう	長底 章夫 (グリーンアドバイザー)	
		午後	実習			
7	11月2日(土)	一日	講義 実習	自然環境教育を学ぶ	本多 孝 (IPNETジャパン)	生駒山麓公園
H25『花とみどりの楽校』 日程・内容等(後期)						
合同講座						
回	とき	時間	形式	テーマ	講師	ところ
8	11月16日(土)	午前	講義	<プランづくり(応用編・1)> 地域での花と緑の風景調査の視点について	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	花のもちづくり センター 「ふるーらむ」
		午後	実習	<応用実習(1)> 地域に出て花と緑の風景を探そう(現地調査)		
9	11月30日(土)	午前	講義	<プランづくり(応用編・2)> 地域の緑と広域の緑について		
		午後	実習	<応用実習(2)> 地域での緑の違いや風景の特色を知ろう		
10	12月15日(日)	午前	講義	<プランづくり(応用編・3)> 地域の「花と緑のプラン」のつくり方について		
		午後	実習	<応用実習(3)> 地域の「花と緑のプラン」をつくってみよう		
11	1月11日(土)	午前	講義	まちづくりにおける住民の役割と体制づくりについて	久 隆浩 (近畿大学)	
		午後	実習	地域の「花と緑の活動」についてみんなで考えてみよう(ワークショップ)	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
12	1月25日(土)	午後	講義 発表 修了式	私の花と緑のもちづくり作戦や今後の抱負の発表 花と緑のもちづくり ボランティア活動 修了式	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 阿部 和生 (奈良・人と自然の会)	
合計						
<応募状況> 23人						
<受講決定者> 23人 (平均年齢 61歳)						
<成果>						
受講前には、「活動をしたい」は2割弱の方々が、修了後には約6割の方々が「花や緑に関するボランティア活動をしたい」という結果であった。						

花とみどりの楽校(里山づくり編)実績

(1) 平成24年度実績
 <応募状況> 42人・・・男性37人、女性 5人
 <受講決定者> 30人・・・男性26人、女性 4人 (平均年齢 63歳)
 <成果>
 講座修了後、8名の修了生が既存の森林ボランティア団体に入会し活躍

H24 『花とみどりの楽校』 里山づくり編 日程・内容等

回	月	日	曜日	時間帯	テーマ	講義 実習	講師	場所
1	10	27	土	午後	<ul style="list-style-type: none"> ■開校式 ■オリエンテーション ■生駒市の緑について ■ロープワーク遊び 	講義 実習	下村泰彦 (大阪府立大学大学院) 小椋昭信 (自然とともに)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
2	11	10	土	午前	■森をよく見てみよう	見学	阿部和生 (奈良・人と自然の会)	往馬大社
				午後	■森のしくみを学ぼう (里地・里山って?、鎮守の森って?)	講義		南コミュニティセンター
3	11	24	土	午前	■植生調査をしよう (計画)	講義 実習	中川育男 (中川技術士事務所 SONEAS)	法楽寺
				午後	■植生調査をしよう (実施・検証)	講義 実習		
4	12	9	日	午前	■樹木の観方を知ろう	観察	御宮知伸彦 (奈良自然観察会)	生駒山麓公園
				午後	■森で楽しみましょう	実習	いこま里山クラブ	
5	12	22	土	午前	■昆虫を通して森を観よう	観察	久保田有 (奈良自然観察会)	生駒山麓公園
				午後	■野鳥の魅力を知ろう	観察	小田久美子 (日本野鳥の会奈良支部)	
6	1	13	日	午前	■森の将来像を描こう (ゾーニング計画)	講義	下村泰彦 (大阪府立大学大学院)	法楽寺
				午後	■竹林の整備をしよう	実習	グリーンボランティア いこま宝の里	
7	1	26	土	午前	■安全な作業の仕方を学ぼう (ロープ等を使用した作業)	実習	小林仁 (アーボジャパン)	生駒山麓公園
				午後	■間伐材を利用をしよう	実習	いこま里山クラブ	
8	2	3	日	午前	■危険な動植物を知ろう	講義	大谷栄徳 (森林インストラクター)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
				午後	■救急法を学ぼう	実習	生駒市消防本部	
9	2	16	土	午前	■安全教育について学ぼう (リスクマネジメント)	講義	山本博 (日本森林ボランティア協会)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
				午後	■森の魅力について知ろう (森の癒し効果)	講義	谷茂則 (谷林業)	
10	3	16	土	午前	■森林環境教育について学ぼう (9時～17時)	講義	本多孝 (IPNETジャパン)	生駒山麓公園
				午後		実習		
11	3	23	土	午後	<ul style="list-style-type: none"> ■ふりかえり ■今後の抱負 ■修了式 	講義	—	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」

(2) 平成26年度実績
 <応募状況> 20人・・・男性14人、女性6人
 <受講決定者> 20人・・・男性14人、女性6人 (平均年齢 61歳)
 <成果>
 講座修了後、3名の修了生が既存の森林ボランティア団体に入会し活躍

H26 『花とみどりの楽校』 里山づくり編 日程・内容等

回	月	日	曜日	時間帯	テーマ	講義 実習	講師	場所
1	9	14	日	午後	<ul style="list-style-type: none"> ■開校式 ・ オリエンテーション ■基調講演「生駒市の緑について」 ■ロープワーク遊び (13時～16時30分) 	講義 実習	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院) 小椋 昭信 (自然とともに)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
2	9	21	日	午前	■生駒の緑はなぜ残ったのか	講義	久 隆浩 (近畿大学)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
				午後	■森のしくみを学ぼう (里地・里山、鎮守の森)	講義	阿部 和生 (奈良・人と自然の会)	
3	10	5	日	午前	■日本の自然観を学ぼう	講義	菅井 啓之 (京都光華女子大学)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
				午後	■自然を通してものの観方を学ぼう	観察		
4	10	19	日	午前	■森づくり先進地の取組 (奈良・人と自然の会) (9時30分～15時30分)	見学	奈良・人と自然の会	ならやま
				午後		実習		
5	11	3	月	午前	■植生調査をしよう (計画・実施・検証) (9時～17時)	講義	中川 育男 (中川技術士事務所 SONEAS)	総合公園
				午後		実習		
6	11	16	日	午前	■安全な作業の仕方を学ぼう (ロープ等を使用した作業) (9時30分～12時)	実習	奈良県森林組合連合会	生駒山麓公園
				午後	■森の将来像を描こう (ゾーニング計画)	講義 実習	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	
7	11	30	日	午前	■森で楽しもう (9時30分～12時)	実習	いこま里山クラブ グリーンボランティア いこま宝の里	生駒山麓公園
				午後	■間伐材を利用をしよう	実習		
8	12	14	日	午前	■森林環境教育を市民に伝えよう (9時30分～17時)	講義	本多 孝、本多 正恵 (社)IPNET-J)	生駒山麓公園
				午後		実習		
9	1	11	日	午前	■ボランティアの意義	講義 実習	坂谷 操 (市民活動推進センターららポート)	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」
				午後	<ul style="list-style-type: none"> ■ふりかえり ■今後の抱負 ■修了式 	講義	阿部 和生 (奈良・人と自然の会)	

花とみどりの楽校(気づき編)実績

平成28年度実績

- (1) 木に親しむ 一木の上から森を見よう!— 5月14日実施
 <応募状況> 対象:小学生以上
 申込者数 56組142人
 参加者 10組 31人 (大人10人、対象子ども20人、対象外子ども1人)
 木に登る人数 20人 (大人1人、子ども19人)
- (2) 親子で自然観察 一セミの羽化を見てみよう!— 7月30日実施
 <応募状況> 対象:小学生とその保護者
 申込者数 25組85人
 参加者 11組31人 (大人15人、対象子ども14人、対象外子ども9人)
- (3) 親子で自然観察 一ハーブ石けんをつくってみよう!— 9月3日実施
 <応募状況> 対象:市内に住む小学生以上 (小学生は要保護者同伴)
 申込者数 18組21人 (大人10人、子ども11人) +保護者10人
 参加者 16組18人 (大人10人、子ども 8人) +保護者 8人
- (4) 親子で自然観察 一THE野遊び!—11月27日実施
 <応募状況> 対象:市内に住む小学生とその家族
 申込者数 10組 32人
 参加者 6組 (大人6人、対象子ども11人)

H28 『花とみどりの楽校』 気づき編 日程・内容等

回	時期	プログラム	場所	内容
1	5月14日(土曜日) 13:30~15:30	木に親しむ 「木の上から森を見よう!」	滝寺キャンプ場	ロープを使って木に登ります。木の上からどんな景色が見えるかな? 木に登るのを待っている間に、「迷子の木捜索隊」を行います。
2	7月30日(土曜日)	親子で自然観察 「セミの羽化を見てみよう!」	生駒山麓公園	セミの羽化は夜に行われるので、見たことのない人は意外に多いはず。夏休みに親子で命の神秘について触れてみませんか。
3	9月3日(土曜日)	親子で挑戦 「ハーブ石けんをつくってみよう!」	花のまちづくりセンター ふるーらむ	親子で挑戦!自然素材100%のハーブ石けんをつくってみましょう。講座で作った石けんを、自宅で使用することで、ハーブの持つ匂いや癒し効果などを感じてみてください。
4	11月27日(日曜日)	森で遊ぼう 「THE 野遊び!」	花のまちづくりセンター ふるーらむ	森には、楽しいものがたくさんあります。どんなものがあるのか、遊びながら探して見ましょう!

花とみどりの楽校(気づき編)実績

平成27年度実績

- (1) 森の中でヨガをしよう 5月15日実施
 <応募状況>
 申込者数 16人
 参加者 11人(女性10人、男性1人)
 参加者年代 40代…1人 50代…2人 60…4人 70代…2人 不…2人
- (2) セミの羽化を見てみよう 8月2日実施
 <応募状況> 対象:小学生とその保護者
 申込者数 24組 93人
 参加者 抽選により12組45人(大人18人、対象子ども25人対象外子ども2人)
- (3) ダッチオープンで焼きりんごを作ってみよう 10月18日実施
 <応募状況> 対象:小学生とその保護者
 申込者数 13組 36人
 参加者 11組 31人(大人15人、対象子ども13人,対象外子ども3人)
- (4) どんぐりを食べてみよう 11月21日実施
 <応募状況> 対象:小学生とその保護者
 申込者数 15組 54人
 参加者 11組 31人(大人14人、対象子ども14人、対象外子ども3人)
- (5) 花づくり はじめのい～っぼ 1月23日実施
 <応募状況> 対象:小学生とその保護者
 申込者数 7組 18人
 参加者 6組 13人(大人6人、対象子ども6人、対象外子ども1人)

H27 『花とみどりの楽校』 気づき編 日程・内容等

回	日時	プログラム	場所	内容
1	5月15日(金) 9時30分～12時	森の中でヨガをしよう	生駒山麓公園野外活動センター周辺	森の中でヨガをすることで、爽快感や解放感が得られます。室内で行うことに比べて何が違うのか、五感の全てを使って新緑の季節に森の中でヨガをします。
2	8月2日(日) 18時30分～20時15分	セミの羽化を見てみよう	生駒山麓公園野外活動センター周辺	セミの羽化は夜に行われるので、見たことのない人は意外に多いはず。夏休みに親子で命の神秘について触れてみませんか。
3	10月18日(日) 13時～16時	ダッチオープンで焼きりんごをつくってみよう!	花のまちづくりセンター ふるーらむ	ふるーらむのりんごが、どのように成長して収穫されるのかを学びます。収穫したりんごで焼きりんごをつくり、みんなで食べましょう。
4	11月21日(土) 13時～16時30分	どんぐりを食べてみよう!	花のまちづくりセンターふるーらむとその周辺	森にたくさん落ちているどんぐり。工作に使うことは多いが、食べようと思った人は少ないはず。どのどんぐりが食べることができるのか食から森を考えます。
5	1月23日(土) 13時～15時30分	花づくり はじめのい～っぼ!	花のまちづくりセンター ふるーらむ	土づくりから、種蒔き、発芽した芽のポット上げ、苗の鉢上げまで、花づくりの基本を学びます。自宅を花で飾ることが、自分たちの住む地域の魅力につながる第1歩となる講座です。

花とみどりの楽校(里山編)実績

(1) 平成28・29年度実績

<応募状況>

19人・・・男性16人、女性3人

<受講決定者>

19人・・・男性16人、女性3人 (平均年齢 59歳)

成果 講座修了後、3名の修了生が既存の森林ボランティア団体に入会し活躍

- ・アンケートの結果 講座内容について 良かった…10人
- ・アンケートを回収できた全ての方が、講座の内容・回数等について満足し8名の方から森林ボランティアに参加してみたいとの回答を得た。

H28・29年度『花とみどりの楽校』 里山編

回	月	日	曜日	時間帯	テーマ・内容	講義 実習 観察	講師	場所
1	1	21	土	午前	開校式・オリエンテーション 基調講演 生駒市の緑について	講義	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	南コミュニティセンター「せせらぎ」とその周辺
				午後	里山って?? 今何が問題なの	講義 観察	阿部 和生 (奈良・人と自然の会)	
2	2	18	土	午前	「木を伐ってみよう」 道具の使い方と 手入れの仕方 作業の安全確保 伐木の基本	講義	NPO法人 日本森林ボランティア協会	エコパーク21 イモ山公園
				午後	フィールドワーク 伐木・階段づくり	実習		
3	3	11	土	午前	生駒の緑の謎 -緑の地形構造を知る-	講義	久 隆浩 (近畿大学)	生駒北小中学校 と高山町内竹林
				午後	フィールドワーク 竹林整備	実習	いこま里山クラブ グリーンボランティア 「いこま宝の里」	
4	4	22	土	午前	「自然の楽しみ方」 自然観察	講義 観察	菅井 啓之 (京都光華女子大学)	生駒山麓公園・ 野外活動センター とその周辺
				午後	「森からの授かりもの」 間伐材・竹を使って クラフトづくり	実習	いこま里山クラブ グリーンボランティア「い こま宝の里」	
5	5	27	土	午前	「森を楽しむ」 山菜採り・野遊び	講義 実習	山崎 春人 (森林インストラクター・ 野遊び研究者)	花のまちづくりセン ター「ふるーらむ」 とその周辺
				午後	ボランティアとは	講義		
						修了式		